

要請番号（JL63017A03）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G159 数学教育		グループ型	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・人間開発省

2) 配属機関名（日本語）

エドアルド・シヴァンボ・モンドラーネ初等教員養成校

3) 任地（ガザ州シャイシャイ市） JICA事務所の所在地（マプト市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車 で 約 3.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

エドアルド・シヴァンボ・モンドラーネ初等教員養成校は、モザンビークに27校ある初等教員養成校(以下IFP)の1校で、国内の初等教育学校(日本の小学1年から中学1年に相当)に勤務する教員を養成している。同IFPでは、同国の教育課程10年間を修了した学生が入学資格を有し、1年間の短期養成プログラムを履修している。この短期養成プログラムは、教員数の増大を目的として、2007年から暫定処置として導入された制度であり、今後、各地域の教員需要を見ながら、段階的に3年間の新カリキュラムが各養成校において導入される予定である。現在、青年海外協力隊員が派遣され、PCクラスの担当、PC室の管理運営を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モザンビークは2005年から導入された初等教育無償化政策の導入もあり、就学児童の急速な拡大を続けている。就学者の急増にともなう教員不足を補うため、モザンビーク教育・人間開発省はIFPの施設拡充による教員養成校の増加を推進し、教員不足の解消が進んだ。教員不足が解消されつつある一方で、現在は、教育現場における教員の指導力など質の向上が課題となっている。エドアルド・シヴァンボ・モンドラーネ初等教員養成校には、約400人の学生が在籍し、1年間の教員養成カリキュラムを履修している。また、技術協力プロジェクト「初等教員養成学校(IFP)における新カリキュラム普及プロジェクト」による新カリキュラムの開発が進められており、2017年度内に算数モジュール(IFPの教科書)が作成される予定であることから、プロジェクトと連携し、同新モジュールを普及する活動も期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 同校の学生に対して、算数を担当する。(週18時間程度を予定。赴任後話し合いで決定される)
- 同校教員に対して、新モジュールに沿った教授法について支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

情報用教室、実験室、プリンター、コピー機

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長:50歳 男性
教員:約40名 平均年齢35歳、教員資格保持者多数
学生数:400名程

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）
（中・高教員（数学））

[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同等の学歴を必要とするため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（8～45℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】